

科目名 Course Name	ICDコーディング International Classification of Diseases Coding			ナンバリング No.	D1-102		
年次	1年	期別	通年	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	(前期) 遠山 今日子 (後期) 小林 仁美						
連絡方法	C-Learning で対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>概要:我が国のIT化に伴い、全国の病院も電子化され包括医療・DPC を取り入れている。DPC に欠かせない、ICD コーディングの基礎とICD-10 国際疾病分類の習得を図る。</p> <p>目標:①ICD-10に関するコーディングの基礎知識を習得し疾病分類ができるようにする。 ②DPC 算定によるICDコーディングの必要性を説明できるようにする。 ③病名以外の記載内容を理解し分類ができるようにする。</p>						
授業の方法	PCの操作を学習しながら、ICDの概要を理解し、様々な疾患についての事例検討・演習問題をグループワークなどで繰り返し行うことによって、コーディングの習得方法を図る。						
学習成果	L01	世界保健機関(WHO)による疾病分類をすることができる。					
	L02	学内ICDコーディング認定試験に合格できる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	テストの結果を返却し、必要に応じて解説を行う。						
教科書/参考図書	ICD コーディング基本テキスト・ICD コーディング応用テキスト(日本コーディングセンター)						
履修上の留意点やルール等	●演習問題が中心となる。PC操作がスムーズにできるよう基本を理解すること。学内ICDコーディング認定試験を受験する場合は必ず履修すること。●事前・事後学習に費やすべき目安は各回45分とする。						
担当教員の実務経験	●実務経歴(職種:医療事務約5年)現場での経験をコーディング指導に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	基礎知識・演習を理解している。授業に集中して取り組んでいる。	20			
レポート/作品	宿題等で提出を求めた課題の内容と提出率で評価する。	10			
発表					
小テスト	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。	10			
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。	50			
その他	検定試験の合否により加点する。		10		
合計		90	10		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス・概要説明 PC操作について
	事前・事後学習	事前:テキスト 1～11 ページ事後:コーディングソフトの使用方法を学んで繰り返し練習する。
2	授業内容	ICDコードブックの使い方、操作練習
	事前・事後学習	事前:テキスト 12～25 ページ事後:コードブックの操作の仕方を学習する。
3	授業内容	ICDコードの基本学習
	事前・事後学習	事前:テキスト 28～32 ページ事後:コードの意味や必要性について学習する。
4	授業内容	ICDコードおよびコードブックの構成について
	事前・事後学習	事前:テキスト 33～35 ページ事後:例題を通して学んだコーディングの方法が身につくように練習する。
5	授業内容	索引表および内容例示について
	事前・事後学習	事前:テキスト 36～43 ページ事後:索引表および内容例示を正しく活用できるように学習する。
6	授業内容	コーディングの手順および例題
	事前・事後学習	事前:テキスト 44～53 ページ事後:コーディングの手順に従って例題を解いていく方法を学習する。
7	授業内容	注釈の意味・略語「NOS」「NEC」の意味について
	事前・事後学習	事前:テキスト 58～61 ページ事後:様々な注釈の内容を理解し、略語の意味についても学習する。
8	授業内容	各種記号等の意味について
	事前・事後学習	事前:テキスト 62～72 ページ事後:種々の記号の意味や使い分けについて学習する。
9	授業内容	「包含」「除外」の意味・相互参照について
	事前・事後学習	事前:テキスト 73～77 ページ 事後:「包含」「除外」の意味や相互参照の意味を理解しながらコーディングの仕方を学ぶ。
10	授業内容	関連用語について
	事前・事後学習	事前:テキスト 78～84 ページ事後:様々な関連用語の意味を理解し、適切にコード付けをする方法を学習する。
11	授業内容	単一コード・複合コードについて
	事前・事後学習	事前:テキスト 86～87 ページ事後:単一コードと複合コードの違いについて学習する。
12	授業内容	ダブルコード・多発病態コードについて
	事前・事後学習	事前:テキスト 88～91 ページ事後:ダブルコード・多発病態コードの違いについて学習する。
13	授業内容	任意的追加コードの取り扱い方法について
	事前・事後学習	事前:テキスト 92～93 ページ事後:任意的追加コードの取り扱い方を理解する。
14	授業内容	病名が急性と慢性の両方を含む場合について
	事前・事後学習	事前:テキスト 94～95 ページ事後:急性のみ、慢性のみ、両方を含む場合のコーディング方法を学習する。
15	授業内容	続発後遺症のコード化、その他の病名のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 96～99 ページ事後:術後の合併症や後遺症の病名の分類方法を学習する。
16	授業内容	感染症及び寄生虫症・新生物のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 5～19 ページ 事後:演習問題 1,2 の練習
17	授業内容	血液・免疫疾患・内分泌疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 21～33 ページ 事後:演習問題 3,4 の練習
18	授業内容	精神及び神経系疾患のコード化

	事前・事後学習	事前:テキスト 35～45 ページ 事後:演習問題 5,6 の演習
19	授業内容	手術処置に関連するコーディングの解説
	事前・事後学習	事前:テキスト 145～150 ページ 事後:処置分類の方法について学習
20	授業内容	手術処置のコーディング演習（小テスト①）
	事前・事後学習	事前:テキスト 151～152 ページ 事後:演習問題 21 の練習
21	授業内容	眼・耳の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 49～53 ページ 事後:演習問題7の練習
22	授業内容	循環器系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 55～61 ページ 事後:演習問題 8 の練習
23	授業内容	呼吸器系及び消化器系疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 62～75 ページ 事後:演習問題 9,10 の練習
24	授業内容	皮膚・筋骨格系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 77～89 ページ 事後:演習問題 11,12 の練習
25	授業内容	腎尿路生殖器系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 92～95 ページ 事後:演習問題 13 の練習
26	授業内容	妊娠・分娩・産褥に関するコーディング(小テスト②)
	事前・事後学習	事前:テキスト 97～101 ページ 事後:演習問題 14 の練習
27	授業内容	新生児の病態に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 103～107 ページ 事後:演習問題 15 の練習
28	授業内容	先天奇形及び症状についてのコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 111～113 ページ 事後:演習問題 16 の練習
29	授業内容	症状・徴候・異常臨床所見に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 115～117 ページ 事後:演習問題 17 の練習
30	授業内容	損傷・中毒に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 119～125 ページ 事後:演習問題 18 の練習